



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 株式会社 カナデン

上場取引所 東

コード番号 8081 URL <http://www.kanaden.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮森 学

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務室長 (氏名) 島本 和徳 TEL 03-3433-1231

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	78,294	8.4	1,666	31.8	1,762	33.2	1,147	60.2
25年3月期第3四半期	72,256	4.8	1,264	△5.0	1,323	△3.3	716	6.3

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 2,043百万円 (116.6%) 25年3月期第3四半期 943百万円 (165.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	33.30	—
25年3月期第3四半期	20.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭		円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	69,078	—	37,345	—	54.0	1,082.57	—
25年3月期	71,473	—	35,897	—	50.2	1,040.08	—

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 37,306百万円 25年3月期 35,856百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	8.50	—	8.50	17.00
26年3月期	—	8.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	8.50	17.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	117,000	6.9	3,300	14.0	3,350	13.3	2,000	3.4	58.02

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	34,907,025 株	25年3月期	34,907,025 株
26年3月期3Q	445,602 株	25年3月期	432,616 株
26年3月期3Q	34,469,536 株	25年3月期3Q	34,477,332 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々の要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。上記業績予想に関する事項は、【添付資料】P. 3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、経済政策や金融政策を背景に、円高修正、株高が進行し、企業収益の改善や個人消費に回復の兆しが現れ、緩やかな回復基調となりましたが、消費増税の決定や、中国をはじめとする新興国経済の減速等、依然として先行きは不透明な状況で推移しました。

当社グループが関連する業界におきましては、エネルギー、省エネ需要は引き続き堅調であり、一部の製造業では設備投資が回復し、停滞していた更新需要にも動きがみられるようになる等、事業環境は改善の兆しが出てきております。

このような状況下、当社グループは中期経営計画（CI・P-3）の中間年度として、今後も成長が見込まれる環境・エネルギー関連分野に注力し、基幹ビジネスの進化、ニュービジネスの創出に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間における売上高につきましては78,294百万円（前年同期比8.4%増）、経常利益につきましては1,762百万円（前年同期比439百万円増）、四半期純利益につきましては1,147百万円（前年同期比431百万円増）と増収・増益となりました。

セグメント別の営業の概況

（単位：百万円）

		前第3四半期連結 累計期間	当第3四半期連結 累計期間	増減率
				増減額
情通・デバイス事業	売上高	18,176	20,189	11.1%
	経常利益	232	521	289
FAシステム事業	売上高	26,477	26,477	△0.0%
	経常利益	754	879	124
ビル設備事業	売上高	9,468	10,228	8.0%
	経常利益	214	143	△70
インフラ事業	売上高	18,133	21,398	18.0%
	経常利益	53	97	44

①情通・デバイス事業

情報通信分野では、画像映像システムがセキュリティに関する需要が持ち直し回復傾向となりました。

医療ビジネス分野では、電子医療装置が堅調に推移しました。

半導体・デバイス分野では、産業用パワーデバイスはアジア市場での生産調整を受けましたが前年並みで推移し、ハードディスクドライブ用のIC、メモリは堅調に推移しました。

その結果、当該事業は増収・増益となりました。

②FAシステム事業

FA分野では、主力のコントローラー・駆動制御機器が、半導体製造装置メーカーや食品関連の機械装置メーカーの需要に回復傾向が見られました。

産業メカトロニクス分野は、国内の設備投資案件が伸び悩み苦戦しました。またプラント設備においては大型案件が無く減少しました。

その結果、当該事業の売上高は前年並みとなりましたが、経常利益はFA分野に回復傾向が見られたことにより増益となりました。

③ビル設備事業

設備分野では、無停電電源装置や受変電設備は金融や通信・情報業界等の新設案件が増加し好調に推移しましたが、昇降機は首都圏を中心に新規案件の増加はあるものの工期遅れ等があり苦戦しました。

空調冷暖分野では、空調機器が省エネ・節電を目的としたリプレース需要は前年並みで推移しましたが、価格競争の激化により利益確保に苦戦しました。

その結果、当該事業は増収・減益となりました。

④インフラ事業

交通分野では、受変電設備は大型案件が無く減少しましたが、列車無線や車両用電機品の需要が回復し好調に推移しました。エネルギー関連ビジネスにおいては太陽光発電システムが旺盛な設備投資を背景に好調に推移しました。

その結果、当該事業は増収・増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3半期連結会計期間末における総資産は、69,078百万円（前連結会計年度末比2,395百万円減）となりました。

流動資産は、57,984百万円（前連結会計年度末比2,669百万円減）となりました。これは、前連結会計年度末と比較して、現金及び預金が832百万円減少、受取手形及び売掛金が5,862百万円減少、有価証券が3,000百万円増加、商品及び製品が1,702百万円増加したことが主要な要因であります。

固定資産は、11,093百万円（前連結会計年度末比274百万円増）となりました。これは、前連結会計年度末と比較して、無形固定資産が95百万円減少、繰延税金資産が145百万円減少する一方で、投資有価証券が532百万円増加したことが主要な要因であります。

一方、流動負債は、29,303百万円（前連結会計年度末比4,133百万円減）となりました。これは、前連結会計年度末と比較して、支払手形及び買掛金が3,900百万円減少、賞与引当金が549百万円減少、未払法人税等が488百万円減少、前受金が1,067百万円増加したことが主要な要因であります。

固定負債は、2,429百万円（前連結会計年度末比289百万円増）となりました。

純資産は、37,345百万円（前連結会計年度末比1,448百万円増）となりました。これは、前連結会計年度末と比較して、四半期純利益を1,147百万円計上、その他有価証券評価差額金が784百万円増加、為替換算調整勘定が112百万円増加した一方、配当金の支払により586百万円減少したことが主要な要因であります。

その結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は54.0%、1株当たり純資産額は1,082円57銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績については、現時点では平成25年5月14日に公表しました業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,719	3,887
受取手形及び売掛金	32,288	26,426
有価証券	17,795	20,796
商品及び製品	3,219	4,921
原材料及び貯蔵品	2	1
繰延税金資産	719	469
その他	1,936	1,503
貸倒引当金	△27	△22
流動資産合計	60,654	57,984
固定資産		
有形固定資産	4,153	4,140
無形固定資産	373	277
投資その他の資産		
その他	6,357	6,739
貸倒引当金	△64	△64
投資その他の資産合計	6,292	6,675
固定資産合計	10,819	11,093
資産合計	71,473	69,078

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,001	25,100
未払法人税等	746	257
引当金	1,333	693
その他	2,356	3,251
流動負債合計	33,436	29,303
固定負債		
退職給付引当金	946	1,024
その他	1,193	1,404
固定負債合計	2,139	2,429
負債合計	35,576	31,732
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,576	5,576
資本剰余金	5,362	5,362
利益剰余金	23,457	24,019
自己株式	△232	△241
株主資本合計	34,163	34,716
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	462	1,247
土地再評価差額金	1,412	1,412
為替換算調整勘定	△182	△69
その他の包括利益累計額合計	1,692	2,590
少数株主持分	41	38
純資産合計	35,897	37,345
負債純資産合計	71,473	69,078

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	72,256	78,294
売上原価	62,981	68,558
売上総利益	9,274	9,735
販売費及び一般管理費	8,010	8,068
営業利益	1,264	1,666
営業外収益		
受取利息	27	24
受取配当金	80	107
仕入割引	18	18
為替差益	—	5
その他	61	38
営業外収益合計	187	194
営業外費用		
支払利息	5	6
売上割引	48	47
手形売却損	9	9
債権売却損	19	18
為替差損	11	—
その他	32	16
営業外費用合計	127	98
経常利益	1,323	1,762
特別利益		
投資有価証券売却益	—	190
特別利益合計	—	190
特別損失		
固定資産除却損	8	2
減損損失	26	—
投資有価証券評価損	56	—
特別損失合計	91	2
税金等調整前四半期純利益	1,232	1,951
法人税、住民税及び事業税	323	584
法人税等調整額	197	221
法人税等合計	521	805
少数株主損益調整前四半期純利益	710	1,145
少数株主損失(△)	△5	△2
四半期純利益	716	1,147

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	710	1,145
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	231	784
為替換算調整勘定	0	112
その他の包括利益合計	232	897
四半期包括利益	943	2,043
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	948	2,045
少数株主に係る四半期包括利益	△5	△2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	情通・ デバイス事業	FAシステム事業	ビル設備事業	インフラ事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	18,176	26,477	9,468	18,133	72,256
セグメント間の内部 売上高又は振替高	79	124	60	0	264
計	18,256	26,602	9,528	18,133	72,521
セグメント利益	232	754	214	53	1,253

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,253
全社費用(注)	69
四半期連結損益計算書の経常利益	1,323

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				
	情通・ デバイス事業	FAシステム事業	ビル設備事業	インフラ事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	20,189	26,477	10,228	21,398	78,294
セグメント間の内部 売上高又は振替高	62	143	54	10	269
計	20,251	26,620	10,283	21,408	78,563
セグメント利益	521	879	143	97	1,642

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,642
全社費用（注）	120
四半期連結損益計算書の経常利益	1,762

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。